



社会福祉士とは？

◇今回は、丸茂歩未さん（金城学院大学卒、社会福祉士）のレポートです！

はじめまして。私は、社会人5年目です。現在、高齢施設の社会福祉士として働いています。社会福祉士という言葉を知ったことがありますか？私は、高校3年生の時、進学先で悩んだ時、福祉の仕事に「相談員」という仕事があると知りました。今回は、機会を頂きましたので仕事と学生生活について話をさせていただきます。

◆どんなお仕事をしているの？

簡単に言えば、「相談をきく」仕事です。話をきく仕事に、何で資格がいるの？と思った方はいるのではないのでしょうか？私たちは、手助けが必要な人々の悩みや不安な相談をききながら、どのように困ったことを解決したらいいのか一緒に考えます。

◆どこで働いているの？

病院など医療機関、児童福祉分野、障がい福祉分野、老人ホーム、市役所・福祉事務所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、母子支援施設、刑務所、学校などにいます。様々な相談者に対応するため、多くの専門的な知識が必要になります。

◆どうしたらなれるの？

社会福祉士は、国家試験です。福祉系大学の指定科目を学び、受験資格を得てから試験に合格することでなることができます。ちなみに、受験科目は19科目あります。主な内容は、身体のしくみ、心理、社会情勢、経済、保険、法律、医療、相談方法、経営、高齢、障害、児童、就労を学びます。

◆どんな人に向いているか？

- ・困っている人の役に立ちたい！
- ・新しいことや流行ものが好き！
- ・成長したい！
- ・なぜ？の興味がある！知りたい！
- ・話をきくことが好き！

⇒相談は、その人に合った情報を、正確に伝える技術が必要になります。それは経験や勘で助言するわけではありません。新しい情報を得ることや「助けて」が言えない人に、私たちから声掛けすることも大切です。



※リハビリ施設→多職種と話し合い、家族や利用者様の相談にのります。

◆福祉分野のキャリアはどのようなものがあるの？

福祉・介護業界には、3種の国家資格があります。「3福祉士」と呼ばれるのは、社会福祉士の他に、介護福祉士と精神保健福祉士があります。資格を取ることがゴールではなく、就職してから、実際に人と関わることで、経験を積むことができます。経験年数に応じた資格もあるので、やりがいや魅力があると思います。

学生時代に頑張ったこと

高校時代：

入学後、将来の目標はなんとなく「有名な国公立・私立大学に合格したい！」と思い、テスト勉強に追われていました。高校3年生で、友達が合格していく中、卒業式が終わっても進学先は決まりません。その時に、悩みや不安を聞いてくれた先生方や両親や友人がいることに気がつきました。人は、誰か話ができる相手がいることで困難に乗り越えられることを学びました。福祉系の大学を卒業し、国家資格を取る！ことを決意しました。

大学時代：

大学は、各地方から生徒が集まり、様々な考え方の人がいるので面白いです。私は、テニスサークルに入会しました。サークル活動は、新たな友人も出来るし、学部以外の人と交流することができます。スポーツは、チームワークが必要です。学年が上がると後輩も出来るため、教える・学ぶことが出来ます。これは社会人になっても大切なコミュニケーション能力となります！

授業は、福祉の歴史や考え方を学び、実習や資格の勉強をすることになります。現場とテキストは違うことを経験します。

現在：

社会人5年目で、高齢者分野の相談員をしています。苦労したことは、新卒ですが、相談相手は人生経験がある歳上の方だったことです。アドバイスすることは気が引けることが何度もありました。しかし、今の私に出来ることは、「誰にも相談出来ないから、家庭でも聞いてくれないから…」と気持ちを抱えた人の話を真剣に聞くことだと思いました。「こんなことを言ってもいいかわからないけど…」と涙を流しながら、話を聞き、終わった時には笑顔で帰られた時にはやりがいを感じます。

まだまだわからないことがあるので、自分自身も日々学ぶ意識を持って生活しています。

最後に：

今、好きなものはありますか？得意なことはありますか？ 私たちが支援する時には、弱い部分よりも強み・出来ること・得意分野を伸ばす方向性をチームで考えます。

また、趣味は友人関係が広がり、知識も増えて、会話するきっかけにもなります。相手を思いやる心や経験は、福祉の仕事にとって役に立つことでしょう。だから、今のその瞬間でやりたいと思うことをやって欲しいです。ありがとうございました。



※趣味の景勝地めぐり→地域の歴史や魅力が感じられます。



※大学→テニスサークル活動。先輩後輩や仲間と一緒にいろいろな経験をしました。